



ナース★アクション

<https://kirarikango.com/>

医療を支える院内保育にもっと予算と保育士を！

～医療従事者のこどもにもより良い保育政策を～

2025年1月27日(月)全日本民医連保育世話人会は、参議院議員会館で厚労省と内閣府こども家庭庁の役人8人と表題の内容で交渉を行いました。日本共産党の倉林明子参議院議員が同席しました。医療介護総合確保基金が自治体に裁量を任された2016年以降、院内保育所運営費の保育士単価は180,800円のまま見直されておらず、宮本徹前衆院議員が国会で武見前厚労相に質したところ「実態を調査して対応する」旨の大臣答弁を引き出しています。そのことを指摘された担当官は「調査はしており、みなさんと同じ方向を向いている」と前向きな応答を示しました。



認可、認可外など、こどもには関係ない事なのです。等しく保育を受ける権利を国が保証して欲しい。

自治体によって対応が違うのは、担当者が短期間で入れ替わるなど理解不足があると思う。国として周知徹底をすべき。

院内保育所は、夜間保育、24時間保育、休日保育、一時保育など多様なニーズにこたえ、認可保育所では賄えない保育を行っています。2024年民医連の院内保育所・病児保育所実態調査結果では、病院経営の厳しさから院内保育継続困難、認可保育所の保育士との処遇改善での格差により保育士確保困難、夜間保育の実施が減少し看護夜勤従事者確保に影響がでているなど緊迫している現状を報告しました。



2月4日国会行動について

🐰 1/24付号外でご紹介した様に、北海道民医連からご案内を郵送した北海道選出国會議員から続々と賛同の返事が届いております(立憲民主党衆議院議員3人、参議院議員1人)。各県で引き続き働きかけをお願い致します。

🐰 行動に参加される方は、スクラブ(上のみ)と名刺を忘れずにご持参ください。議員や秘書の方とは必ず名刺交換をお願い致します。

